

ウンカ類に対する長期残効型箱処理剤の防除効果

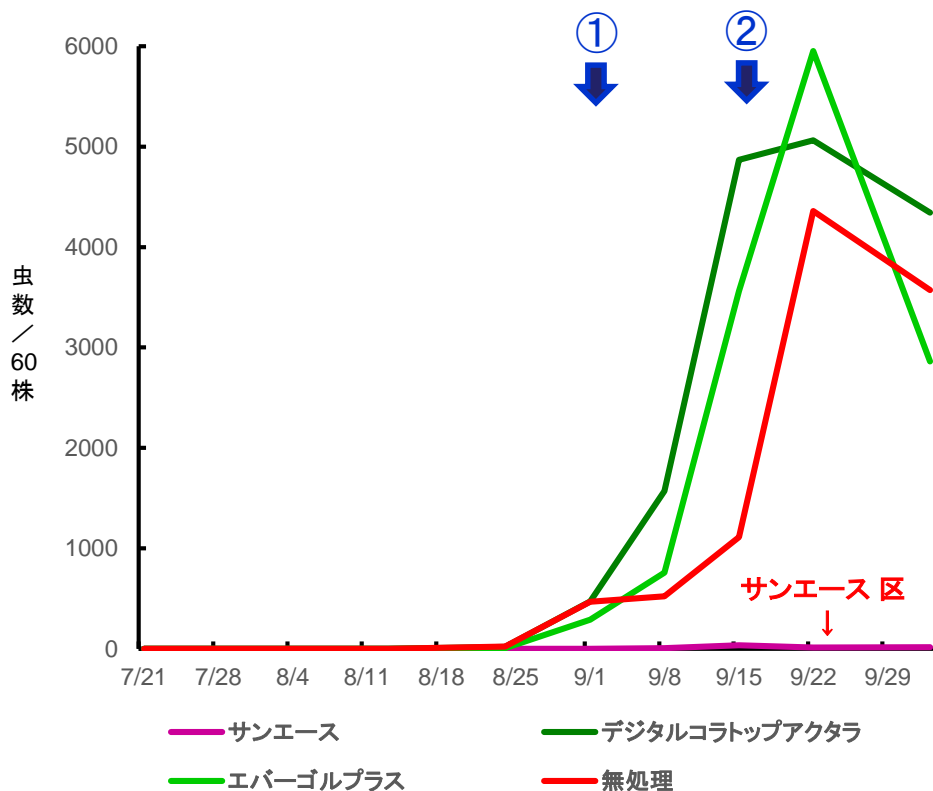
農林水産研究所

近年、トビイロウンカによる坪枯れ被害が多発しています。

最近開発された、トリフルメゾピリム(※)を成分とする箱処理剤は、ウンカ類に対して長期に渡り残効が持続し、トビイロウンカに対して移植後100日以上残効が認められました(セジロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイに対しても長期にわたり発生抑制)。

本田防除剤の処理では、トビイロウンカの生息場所である株元に薬剤を十分に付着させることが難しく、十分な防除効果が認められないことから、トビイロウンカに対する防除効果を確実に上げるためには、有効な「長期残効型箱処理剤」の施用が必要です。

(※)サンエース箱粒剤、スクラム箱粒剤、箱維新粒剤、ゼクサロンパディート箱粒剤等



トビイロウンカ
短翅雌成虫



トビイロウンカによる
坪枯れ

トビイロウンカに対する箱処理剤の防除効果

注) 移植日: 6/23。 矢印はウンカ類に効果のある本田防除剤(粉剤)の散布時期(①サンエース区以外: 9/1にジノテフラン、プロフェジン, ②全区、斑点米カメムシ類対象として: 9/15にジノテフラン)。